

# 景気の動き

## 四 国（地域経済報告 – さくらレポート – ・日本銀行）

項目	4月判断	前回（1月判断）
総括判断	四国地域の景気は、緩やかに持ち直している。	同左
公共投資	持ち直している	同左
設備投資	増加している	同左
個人消費	持ち直している	同左
住宅投資	弱めの動きとなっている	同左
生産	横ばい圏内の動きとなっている	振れを伴いつつも、弱めの動きとなっている
雇用・所得動向	緩やかに改善している	同左

[日本銀行 2026年4月6日発表]

## 全 国（月例経済報告・内閣府）

項目	4月月例	3月月例	
基調判断	景気は、緩やかに回復しているが、中東情勢の影響を注視する必要がある。 （先行きについては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されるものの、中東情勢の影響を注視する必要がある。また金融資本市場の変動の影響や米国の通商政策をめぐる動向などに注意する必要がある。）	同左	
個人消費	持ち直しの動きがみられる。ただし、消費者マインドがこのところ弱い動きとなっていることに注意が必要である	持ち直しの動きがみられる	
設備投資	持ち直している	緩やかに持ち直している	
住宅建設	弱含んでいる	同左	
公共投資	堅調に推移している	底堅く推移している	
輸出入	輸出	おおむね横ばいとなっている	同左
	輸入	おおむね横ばいとなっている	同左
	貿易・サービス収支	おおむね均衡している	同左
生産	横ばいとなっている	同左	
企業	収益	米国の通商政策の影響が残るものの、改善の動きがみられる	同左
	業況判断	おおむね横ばいとなっている。ただし、先行きについてはやや慎重な見方となっており、中東情勢の影響を注視する必要がある。	おおむね横ばいとなっている
	倒産件数	増加がみられる	同左
雇用情勢	改善の動きがみられる	同左	
物価	国内企業物価	緩やかに上昇している	同左
	消費者物価	このところ緩やかに上昇している	同左

[内閣府 2026年4月23日発表]